

躍動する学生、生徒たち

13



MOS世界学生大会に出場する
長野商業高3年

おさん
近藤里桜

マイクロソフト社公認のソフトウェアの資格試験、MOS（マイクロソフト・オフィス・スペシヤリスト）試験の世界学生大会に出場する。日本から今年の世界学生大会へ出場するのは、参加の意思を示した高等学校、高等専修学校、専門学校、

短期大学、大学に在籍する対象者のべ2万7000人のうちたった5人。このうち、高校生は近藤さんのみだ。
MOS 試験とは、業種を問わず幅広く使われ

問題を解くスピードと確実性が武器 「コツコツと積み重ねていく根気がある」

ワード部門の試験で100点満点を記録。さらに全問を解答するまでの時間が短かったことなどが評価され2位で1次試験をパス。小論文や面接などの2次試験を経て日本代表に選ばれた。

制限時間内に2回全問を解けるスピードと確実性が武器。授業や放課後

将来の夢は、国税専門官になること。納税の義務が確実に果たされてい

「自分の力を確実に出したい」と、解答の精度と速さを高めるための努力を続けている。前回は54万から11万人以上が申し込んだ大会で、頂点を目指す。

ているワード、エクセルやパワーポイントといったマイクロソフト・オフィス製品の利用スキルを証明する試験。日本国内

近藤さんは、今年1月に受けた、今回出場する

に何回も解いた模擬問題では、1回間違えたら次は間違えないように

るかといった調査に携わることの魅力を感じている。また、今年1月に長野市などで開かれたスケ

近藤さんが出場する「MOS世界学生大会2011」は米国サンディエゴで8月1日、2日（現地時間）に行われる。現在は、推薦で抜擢された、秋に開く長商デパートの営業課長や吹奏楽部の活動で忙しいが、模擬問題に取り組む毎日。



松村教諭は「2年の秋まではそれほど目立つ生徒ではなかった」と話すが、昨年の秋以降は様々な分野で活躍。入学以来、少しずつ蓄えてきた力が一気に花開いているようだ。

も確実に習得していることとする意欲がある」と評価。同じく商業科の坂口健之教諭は「とにかくコツコツと積み重ねていく根気がある。インターハイのホームページは素晴らしい出来だった」と話す。